



第25回参議院選挙 公明党7選挙区完勝、比例区7議席獲得



皆様のおたたかなご支援により、非改選の14議席とあわせて、結党以来、過去最多の28議席を獲得することが出来ました。選挙戦を通じて、わが党に寄せられた有権者の皆様のご期待にお応えするため、公明党の持ち味である「小さな声を聴く力」を存分に発揮し全国3000人の「議員ネットワークの力」さらに強化して、お約束した政策の実現に取り組んで参ります。

令和元年 第2回定例会 一般質問から

新堀1・2丁目の道路整備について

(質問) 市道と私道が複雑に混在する中で、経年劣化が激しい道路整備の課題をどのように考えているのか？

(答弁) 新堀地域の道路は昭和30年代に築造された道路が多く市に移管するには再整備が必要である。また、道路を分筆する必要もある。まずは地域の方々に私道の状況をご理解いただき、住民からの相談には丁寧に説明していきたい。

リサイクルを通じた環境教育について

(質問) 資源物中間処理施設エコプラザスリーハーモニーや、官民連携で行われるペットボトル回収再生事業を通じて、市独自の環境教育に取り組む考えは？



(答弁) 地域教材として活用できる内容であり、市の社会科副読本への掲載、指導例の研究の可能性はある。

買い物リハビリについて

(質問) 介護予防やリハビリと買い物を同時に行う買い物リハビリについて、先進自治体の例を参考に東大和市でも取り組んでもらいたいが、市の考えを伺う。

(答弁) まずは進展する高齢社会における介護予防・健康寿命延伸のため、様々な取り組みを行う必要があるため、検討してまいりたい。



東日本大震災により被災した東北の子どもたちと、東京の子どもたちがスポーツを通じてと交流することが目的の事業を、東大和市では8年間、東大和市少年軟式野球連盟の全面的な協力で、毎年夏休みに行ってきました。

東口まさみは、事務局長としてこの事業に携わってきました。8年間で宮城県登米市、気仙沼市、石巻市からご招待した選手は106名、監督スタッフは75名、東大和市で交流試合を行った選手の数は199名、そして、事業の要であるホストファミリーは61件になりました。

この事業にご招待するきっかけとなった3人の野球少年。3人の現在の様子を伺いました。



南三陸で被災し、その後登米市で野球をしていた彼は、この春、社会人になり寮生活を送っています。石巻市渡波地区で被災した彼は、その後、石巻市中里で野球を続け、現在は仙台高等専門学校の2年生。彼も寮生活を送っています。気仙沼市沿岸部で被災し、その後、気仙沼市面瀬のチームに所属していた彼は、現在東京の私立高校3年生。やはり寮生活を送っています。3人とも親元を離れ、逞しく成長していると聞きました。本当に嬉しいです。

来年の2020オリンピック・パラリンピックを目指して続けてきたこの事業は今年で最後になります。スポーツの力が子どもたちを支えてくれたこと、そして、頑張る子どもたちを支えてくれた多くの関係者の皆様に心からの感謝を申し上げます。

車の急発進防止装置 都が9割補助が実現



都議会公明党は第2回定例会の代表質問で、自動車の安全対策について子どもたちをはじめ歩行者の安全を守るために速やかに対策を実施するよう求めた。

これに対して小池都知事は、緊急対策としてアクセルとブレーキの踏み間違いによる急発進を防ぐ装置の取り付けについて、都が費用の9割を補助する考えを示し、予備費を使って7月からの実施が実現した。

お問合せ・ご意見・ご要望は
東口まさみ後援会

TEL/FAX **042-564-4630**
東大和市仲原 2-8-10